

第1回富山県武道館整備基本計画の見直し検討委員会(R5.4.21)での主な意見

●主な意見

- ・ 事業費が大きいので、機能をどう縮小するのか、或いは規模を小さくするのか。
- ・ 例えば、4階の建物を平屋にする場合、違う場所にするべきなのか。
- ・ 沖縄や金沢のようにスポーツ施設を集約した方が良いのではないか。
- ・ 建設費の削減もそうだが、そのあとのランニングコストの部分がどうなるのか。
- ・ 例えばイベント的な要素をなくした時に、収入と支出がどのようになるのか。
- ・ 多目的でない場合に収益が落ちてしまい、建物自体が負の遺産になるのではないか。
- ・ 現在の建物を改修する場合に幾らぐらい費用がかかって、どのような問題があるのか。
- ・ 場所を変え、郊外の県有地に建てるという案であれば、駐車場問題もクリアするのではないか。
- ・ 球技系に関しては富山市総合体育館が充実しており、球技ではなく、床に金具をつけなくていいような種目に絞るのも一つの案ではないか。
- ・ 武道は武道館でという考え方がやはり良いのではないか。
- ・ 武道館でバレーボールも、バスケットボールもというのは賛成ではない。
- ・ ユニバーサルデザイン、幅広い立場の方々が自由に使えるようなものにしてほしい。
- ・ せっかく新しい施設ができるので、いろんな方々が楽しみに使えるような工夫も入れてほしい。
- ・ 基本計画における主道場の6面は、ある程度の大会をやる最小限の大きさ。
- ・ 現在の武道館は2面しか取れず大きな大会は開催できない。控室などの設備も足りない。
- ・ 駐車場も20台しかない。敷地外の駐車場では重い道具を持っていけるのかという問題もある。
- ・ 駐車場は最低300台、できれば500台は必要。
- ・ 武道に特化する場合、機能を見直すべきだし、財源の問題もある。必要な機能に特化した上で、規模自体を見直す必要があると感じる。
- ・ コンセプトは武道に特化というのはある程度確認されたと思う。
- ・ 建設・ランニングコストも踏まえて、どこまで削減して、機能を維持できるのかがポイント。